

京大地震調査チーム 調査速報 2 (11/29)

23 日に現地入りしてから今日まで、白馬村の姫川第二ダムから三日市場地区の南部まで、ほぼ連続的な地震断層を発見することができました。現在までに、確認できた地震断層の長さは約 8 km になります。地震断層の上下変位量は最大で約 1.5m、走向北東と北西の地震断層に、それぞれ左横ずれと右横ずれ成分を伴っていることが明らかにしました（添付写真を参照）。調査中で、まとめる時間がないので、とりあえず、調査の途中結果をご報告します。

林 愛明

京都大学理学研究科地球惑星科学科

地球物理学教室



写真 1.北東走向の地震断層沿いの水田と道路の変位（東側隆起70-80cm 程度，右側の道路中央部の小川と水田のあぜ道に左横ずれ約 65cm）。



写真 2.北西走向の地震断層沿いの水田の変位（上下変位量は30-40cm，右横ずれ30~40cm程度）。



写真 3.地震断層の最大変位露頭。上下変位量約 1.5m。



写真 4.地震断層南部部地域の露頭。上下変位約 25cm。